



# 「千代田地区かわまちづくり」整備について



国土交通省 中国地方整備局  
福山河川国道事務所 鳥越美里

# 1. はじめに

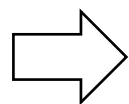
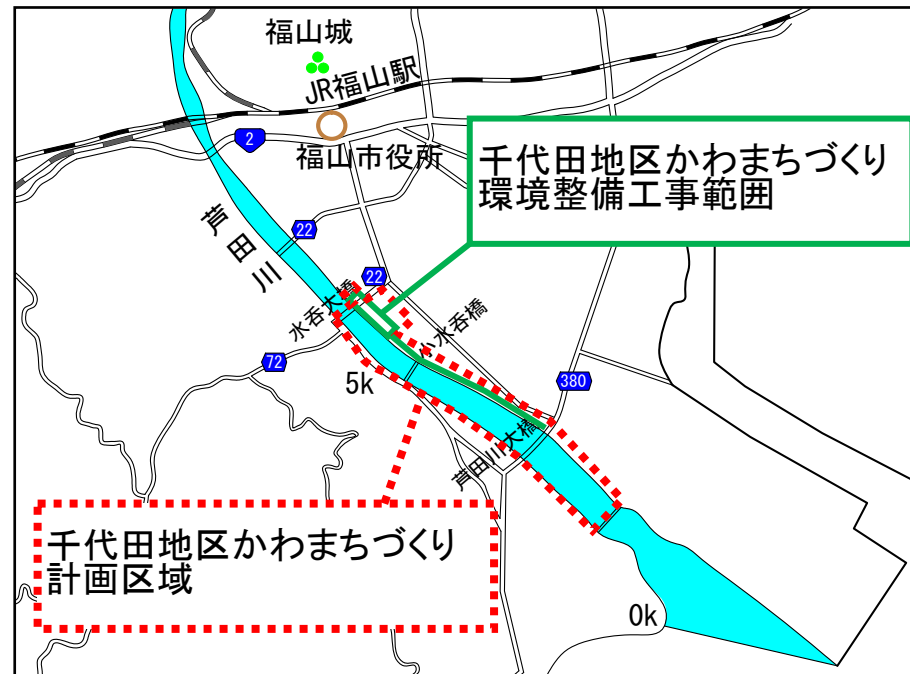
福山河川国道事務所では・・・  
「芦田川水系河川整備計画」  
人々が利用しやすい河川空間を  
整備するとともに、川らしい  
自然環境を創出することを目標

福山市では・・・  
「福山市都市計画マスタープラン」  
良好な河川空間の保全・創出に  
努めるとともに、河川敷については  
レクリエーション空間としての活用を促進

福山市営競馬場跡地  
に建設する  
総合体育館、公園と  
芦田川の一体的な利活用

「あしだかわ利活用  
推進委員会」  
を設置し、  
利活用について議論

様々なイベントを通じて  
魅力を発信することにより  
福山ブランドとしての  
価値が高まることを期待



福山市が「かわまちづくり支援制度」により  
「千代田地区かわまちづくり」計画を策定

# 1. はじめに

福山河川国道事務所では・・・  
「芦田川水系河川整備計画」  
人々が利用しやすい河川空間を  
整備するとともに、川らしい  
自然環境を創出することを目標

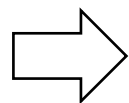
福山市では・・・  
「福山市都市計画マスタープラン」  
良好な河川空間の保全・創出に  
努めるとともに、河川敷については  
レクリエーション空間としての活用を促進

福山市営競馬場跡地  
に建設する  
総合体育館、公園と  
芦田川の一体的な利活用

「あしだかわ利活用  
推進委員会」  
を設置し、  
利活用について議論



様々なイベントを通じて  
魅力を発信することにより  
福山ブランドとしての  
価値が高まることを期待



福山市が「かわまちづくり支援制度」により  
「千代田地区かわまちづくり」計画を策定



# 1. はじめに かわまちづくり計画の芦田川水系河川整備計画上の位置づけ

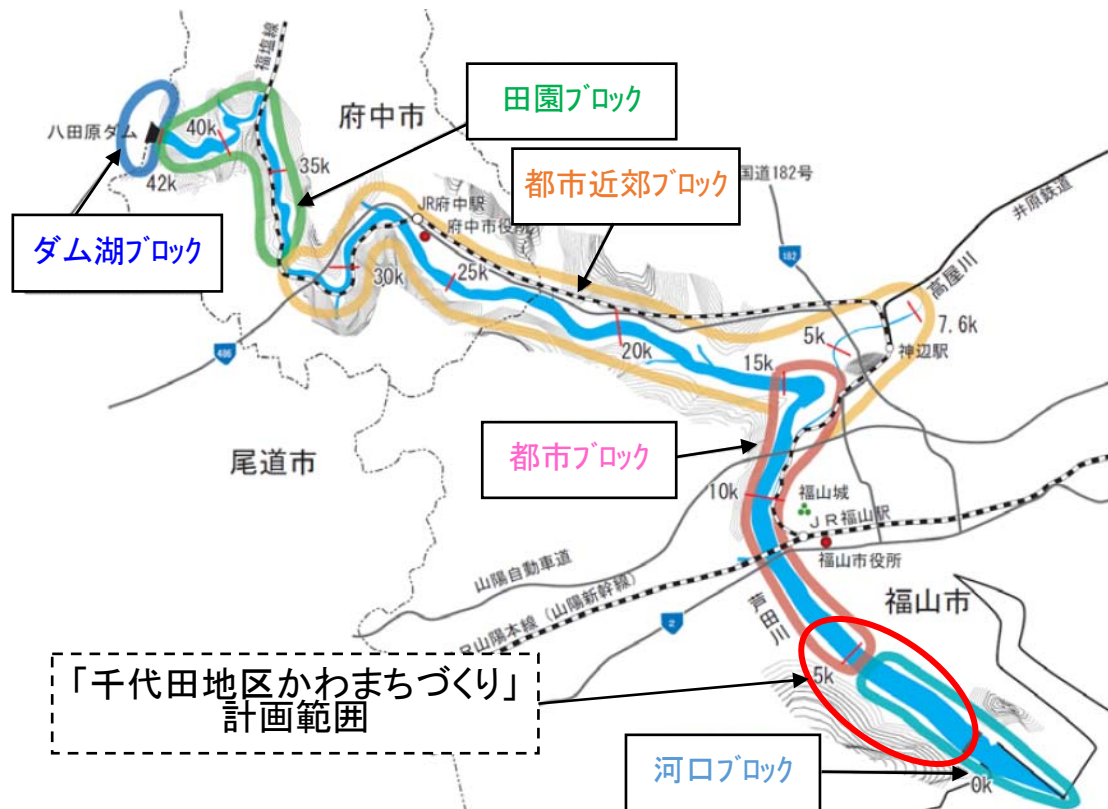
河川環境に関する目標

ー 利用しやすい河川空間を整備するとともに、川らしい自然環境の創出を目指すー

(1) 自然環境の保全

(2) 快適に利用できる河川空間の整備・保全

(3) 環境学習の場としての利便性・快適性の向上



ブロック別基本方針

河川空間を流域及び河川の特徴に応じて区分

都市ブロック・・・

「歴史と川辺の交流空間」

広大な河川敷を利用した多目的交流空間の場を目指す

河口ブロック・・・

「人々のふれあいと

水上スポーツの空間」

スポーツ・レクリエーション空間の利用の場を目指す

# 1. はじめに

## 「あしだかわ利活用推進委員会」について

福山市営競馬場跡地 『水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点』  
 ……芦田川の河川空間と連携した利活用を図り、総合体育館・公園の整備

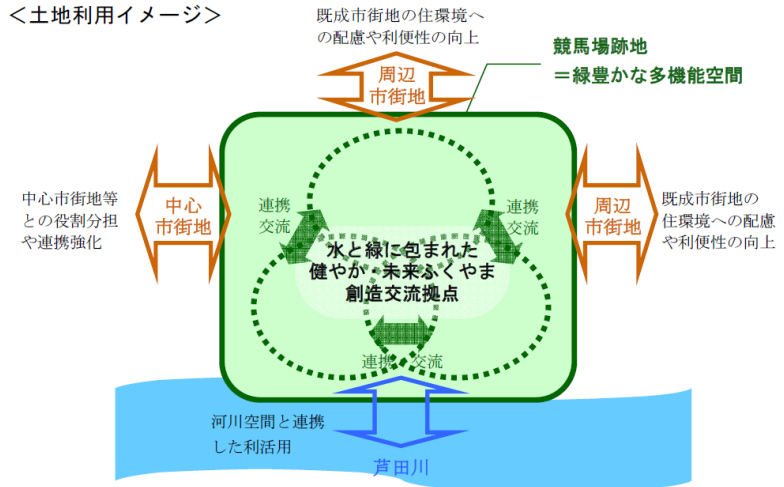
### 芦田川の河川空間

……かわまちづくり支援制度を活用して  
 福山市、自治会、各種団体、国等による  
 「あしだかわ利活用推進委員会」を設置し  
 事業計画を検討

### 「あしだかわ利活用推進委員会」の設置と経緯

年月日	回数	内容
H28.11.21	第1回	委員会設置、役員選出
H28.12.20	第2回	委員からの提案事項、整備素案
H29.1.25	第3回	整備素案策定
H29.5.30	第4回	規約の改正 かわまちづくり計画協議
H29.8.31	第5回	かわまちづくり計画協議
H29.12.27	第6回	これまでの課題整理 かわまちづくり計画協議
H30.3.26	—	「千代田地区かわまちづくり」計画が登録
⋮	⋮	⋮

<土地利用イメージ>



出典：福山市営競馬場跡地利活用基本計画

### 「あしだかわ利活用推進委員会」のメンバー

- ・福山市自治会連合会 会長
- ・福山市公立小学校長会 副会長
- ・芦活部 部長
- ・芦田川環境マネジメントセンター 会長
- ・公益財団法人福山市体育協会 会長
- ・花ネットワーク・BINGO 代表
- ・福山市運動普及推進員連絡協議会 会長
- ・福山市走ろう会 会長
- ・ポレポレカヌークラブ 代表
- ・連合広島福山知己協議会 副議長
- ・国土交通省福山河川国道事務所 副所長
- ・福山市建設局建設管理部 部長

## 2. 利活用に向けた取り組み内容 〈全体エリア〉





## 2. 利活用に向けた取り組み内容(1)

### ①河川管理用道路と自転車歩行者用道路

護岸沿いに河川管理用通路と並んで自転車歩行者用道路を整備



「ふくやまマラソン」や「鞆の浦トライアスロン」の開催  
「福山市ウォーキングマップ」の作成



幅の広い通路はウォーキング、マラソン大会、トライアスロンのコースとして利用でき、スポーツや健康づくりに活用できる



## 2. 利活用に向けた取り組み内容(2)

### ②親水護岸・・・階段状の高水護岸

かわまち広場で行われるイベントの観客席として利用

子供が座ることも考慮して1段の  
高さは30cm



総合体育館と一体的な利用を想定するエリアにおいて  
階段護岸を坂路部法面も含めて天端まで設置

→ 利便性の向上と踏み荒らしによる堤防の劣化防止を図る



## 2. 利活用に向けた取り組み内容(3)

### ③親水護岸・・・低水護岸

- ・スロープの護岸：車から直接ボートなどの乗り入れが可能
- ・漕艇護岸：ボートなどの接岸が可能
- ・ステップの護岸：川に近づくため環境学習に利用可能



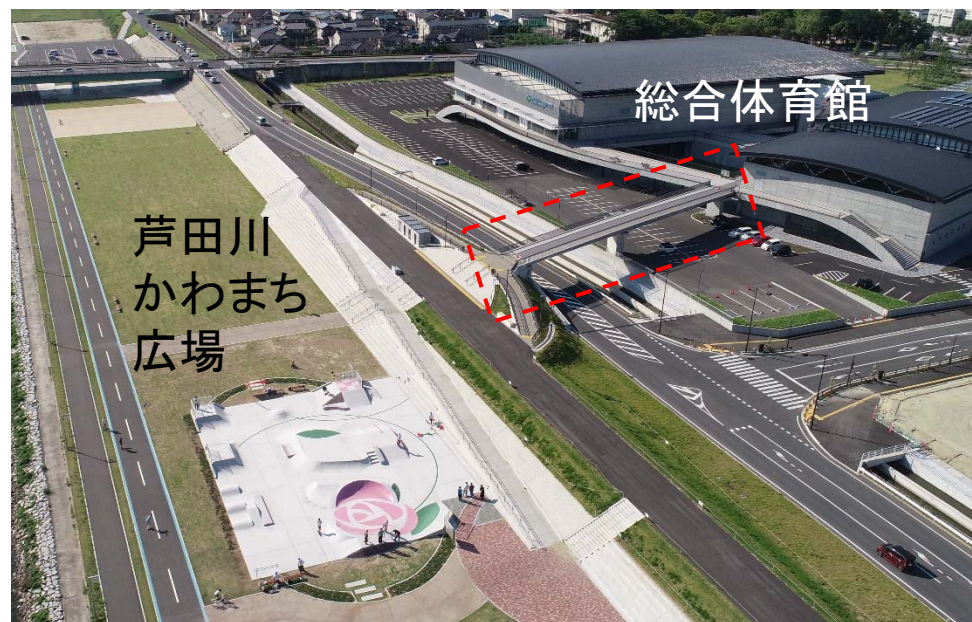
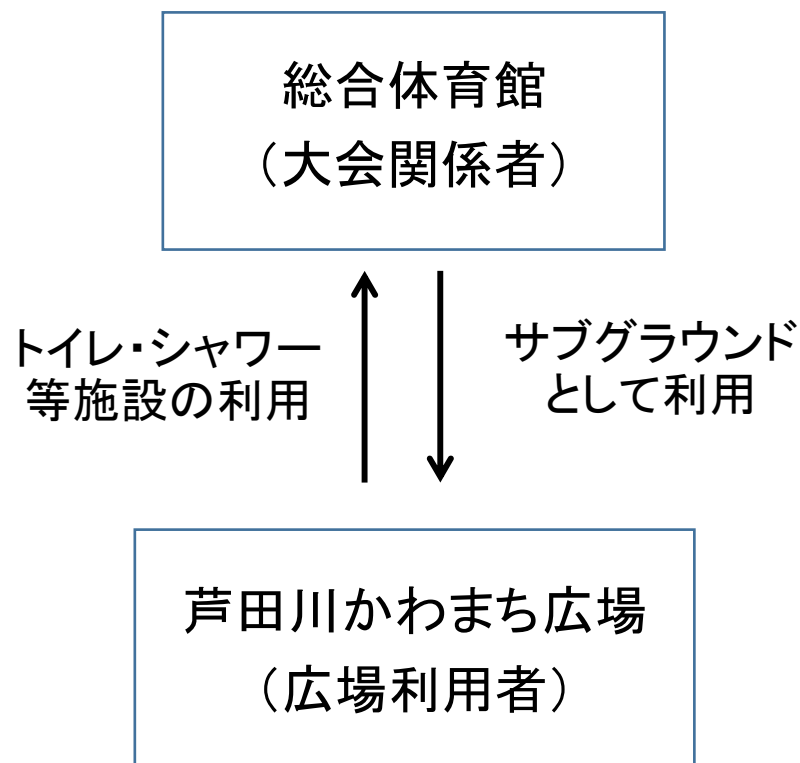
かわまち広場  
付近は漕艇の  
練習コースとして  
使用されている



## 2. 利活用に向けた取り組み内容(4)

### ④連絡歩道橋

総合体育館の2階デッキと芦田川堤防を結ぶ橋



相互の施設の利便性を高めることができる

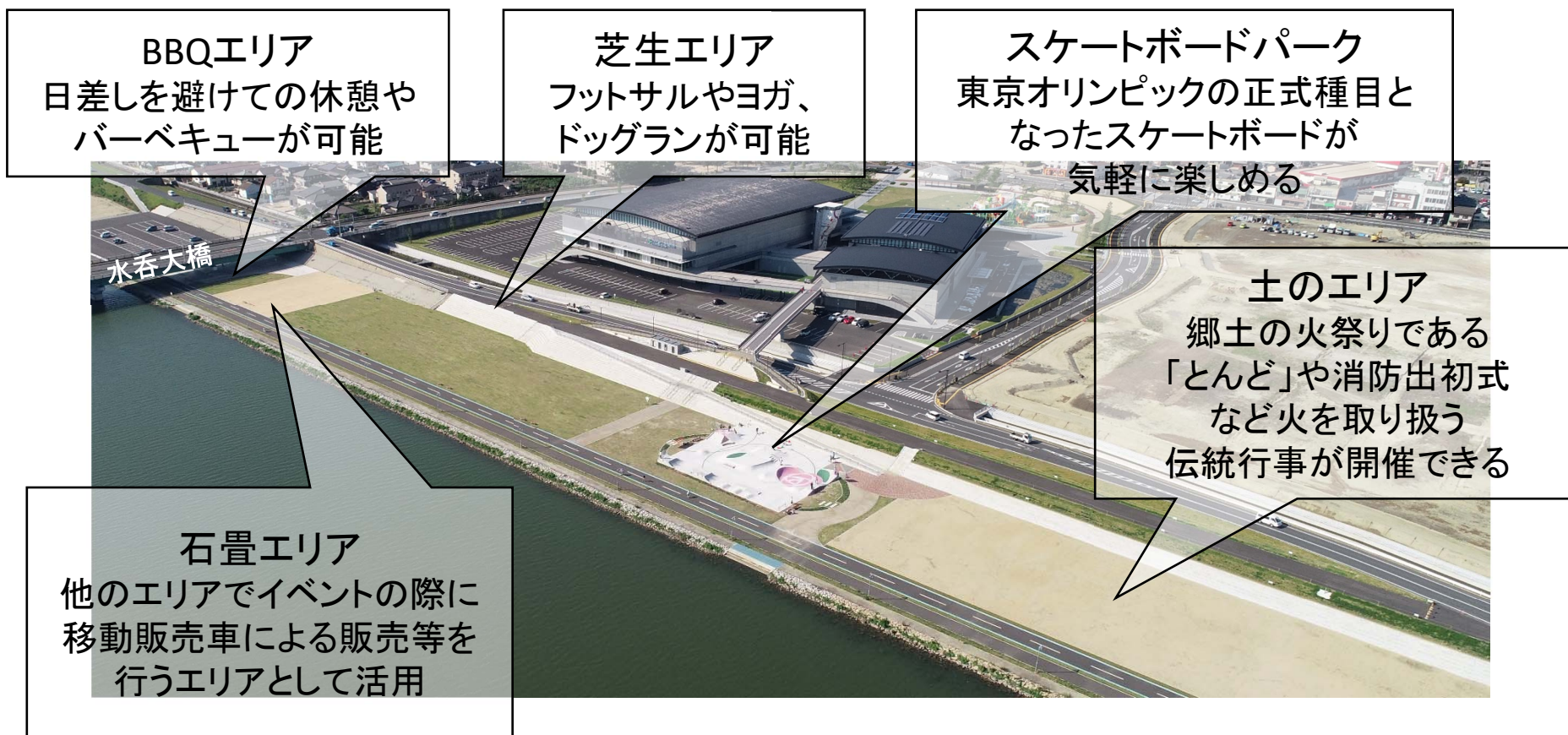


## 2. 利活用に向けた取り組み内容(5)

### ⑤ アクティビティを楽しむ空間



「芦田川の広がりのある河川敷を利用したスポーツやイベントを行いたい」





# 3. 空間整備に対する課題と対策(1)

治水機能を損なうことのないような整備  
景観や利用についてニーズにあった整備 を行うにあたっての課題と対策

## ①スケートボードパーク



「若者が公園ではできないスケートボードを楽しめるようにしたい」

### (1) 治水安全上の観点

スケートボードパーク設置は工作物設置許可基準等に記載なし  
全国的にも国管理区間の河川敷に設置した事例は現地据え置き型  
個別に検討する必要があった

局内通知に基づき、高さ1.0m以下の固定式で検討を進めた

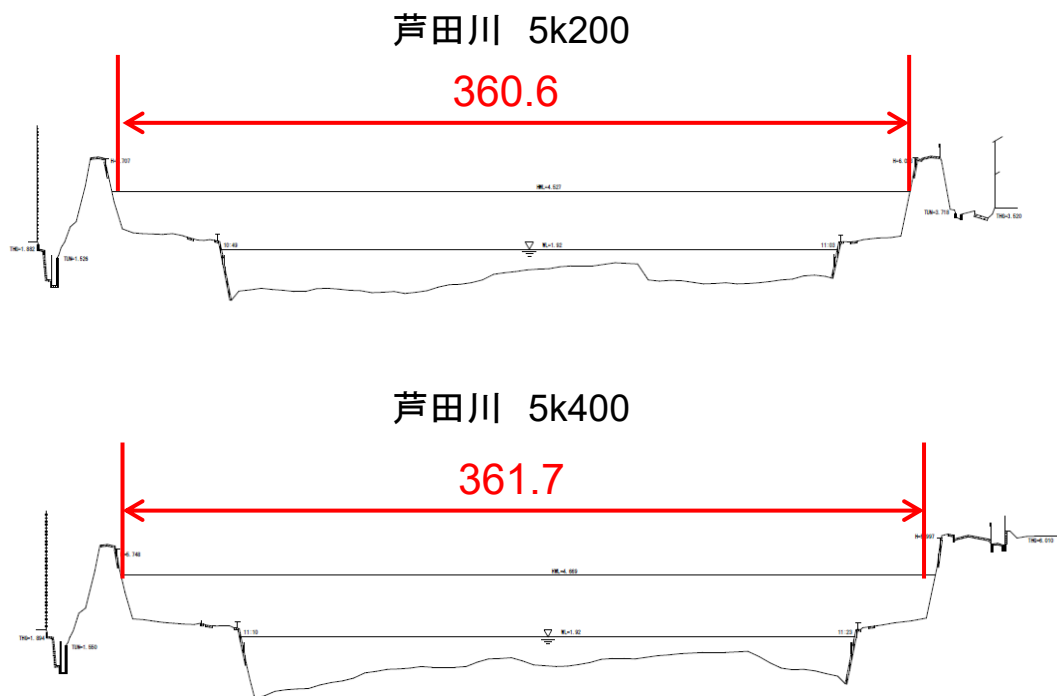
### 3. 空間整備に対する課題と対策(2)

#### ①スケートボードパーク (1)治水安全上の観点

##### ・河積阻害

設置する箇所は川幅が広く、流速も遅い箇所

→ 河川管理施設等構造令の河川区域内に設けられる橋脚の河積阻害率5.0%以下を用いて検討



川幅 5k200で360.6m

5k400で361.7m

設置位置は5k300

川幅平均361.2m

河積阻害率5.0%相当幅

$361.2 \times 0.05 = 18.06$

施設の設置合計幅員条件

**18m以下**

→ 17mで計画

### 3. 空間整備に対する課題と対策(3)

#### ①スケートボードパーク (1)治水安全上の観点

- ・施設はコンクリート構造物
- ・川の流れに対して斜面・曲面を向ける構造

水の衝撃を極力  
受け流せる構造

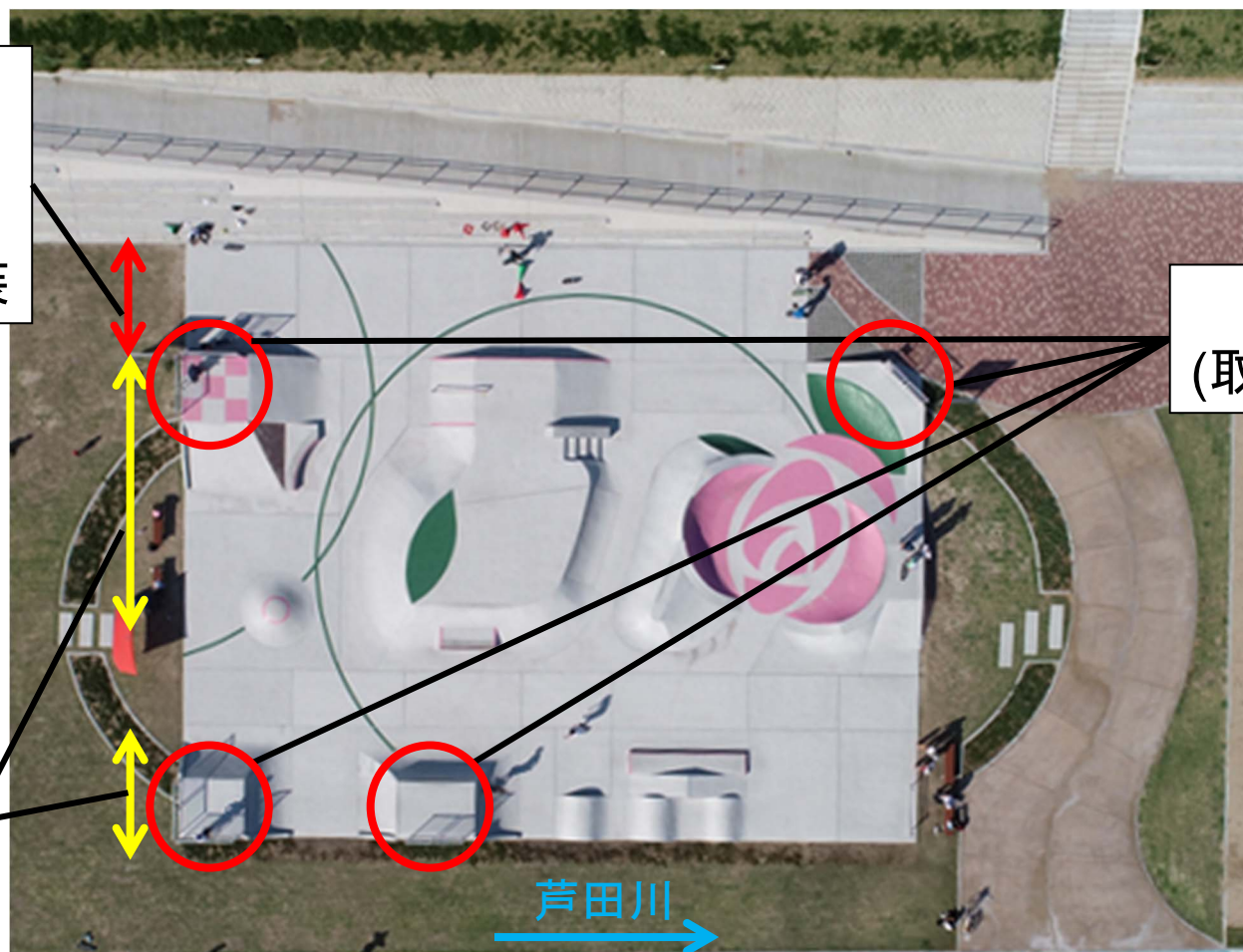
堤防法尻から  
スケートボード  
パークの間を  
コンクリート舗装

洗掘・流出等  
の防止措置

施設の設置  
合計幅員  
17m

安全柵  
(取り外し式)

1.0mを  
越える  
もの





### 3. 空間整備に対する課題と対策(4)

#### ①スケートボードパーク (2)利用安全上の観点

	想定される危険	安全対策方針
スケーター	自ら転倒 (他人に向かい)接触・衝突 夜間利用	<ul style="list-style-type: none"><li>・転落防止</li><li>・見通しの良い空間</li><li>・背の低い施設配置</li><li>・安全利用上の注意喚起</li><li>・パーク内進入に対する安全の注意喚起</li><li>・照明をつけない (夜間の利用禁止)</li></ul>
滑走していない利用者	移動中の転倒 (他人から受ける)接触・衝突	
利用意思のない者	パーク内に誤侵入し転倒	

# 3. 空間整備に対する課題と対策(5)

## ①スケートボードパーク (2)利用安全上の観点

具体的な対策

- ・転落等防止柵の整備(1.0m以上になるものは取り外し式)
- ・高さ1.0m未満の施設で見通しの確保
- ・注意看板の設置
- ・誤侵入対策・・・緑化ブロック、周囲に低木

緑化ブロックによる  
導線の確保



低木によるスケートボードの  
飛び出し防止

# 3. 空間整備に対する課題と対策(6)

## ②親水護岸

「カヌーなどが利用できるようにしたい」

「利用にあった水際の安全対策がしていると安心して利用できる」



### 河川管理施設として整備していく上で考慮した点

一連の低水護岸として  
元々の低水護岸の勾配  
1:2.0より緩い  
1:3.0の勾配で捨石を整備

#### 漕艇護岸

ボートの接岸を行う関係で  
護岸から深さがあるため  
転落防止柵を設置する  
ことにより安全対策を実施

#### スロープの護岸

カヌー乗り入れ場所  
として実績のある  
勾配1:6.0を採用  
その前面一連の  
捨石を平場として  
管理用道路の線形を  
あまり侵さないよう  
川側に寄せて整備

#### ステップの護岸

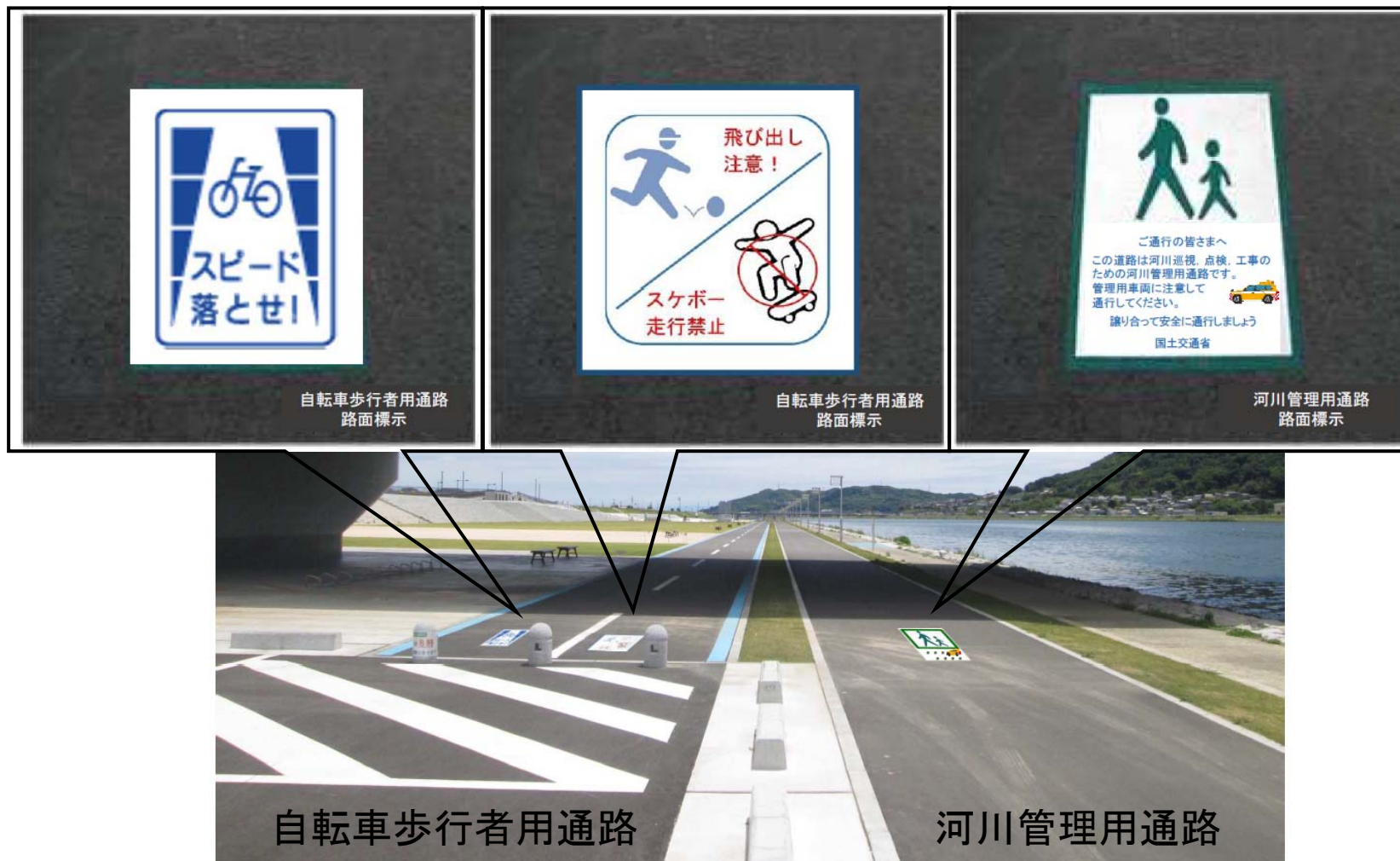
安全性に配慮した  
水際部の形状として  
河床までの階段護岸  
があるが、当箇所は  
ある程度水深がある  
ため、全て階段状  
ではなく、階段状の  
前面は捨石として整備





# 4. 整備後の課題について(1)

河川管理と利用促進のすみわけ  
→ 路面標示を行うことで注意喚起



## 4. 整備後の課題について(2)

車止め手前の広場に違法駐車

→ 駐車禁止区画線の設置





# 5. 現在の利活用状況





# 5. 現在の利活用状況



2020.10.18 ヨガの体験レッスン



2020.8.2 福山芦田川トライアスロントレーニングキャンプ

